

## 水 土 里 レ ポ ー ト

投稿月日	2017/5/15
タイトル	ほたるの里百間の会～種まき～in田んぼの学校2017
水土里レポーター名	水土里ネット那須野ヶ原 参事 星野 恵美子

平成29年4月22日、栃木県那須塩原市二区町において、平成29年度「ほたるの里百間の会」田んぼの学校が開校しました。年度初めは、田植えに使い苗の種まき作業です。「ほたるの里百間の会」では、平成17年から活動を行っており今年度で13年目に突入です。この日は、生憎の雨模様ですが、地元の農家の方や親子で参加の小学生、ボランティアの高校生など約60名が集まりました。

毎年「ほたるの里百間の会」では、農家の方が準備した苗床に種を播種し覆土を行っていましたが、本年度は、苗床を作るところから作業が始まりました。高校生が苗箱に土を入れ農家の方の指導を受け小学生が土を平らにしていけます。農家の方々の適格な指導のおかげで初めてやる作業にも関わらずあっという間に苗床が完成しました。完成した苗床にじょうろで水をかけて種をまく準備が完了です。水をかけ終わった苗床を移動して種まきの始まりです。種まきは、毎年行っているため子供たちは慣れた手つきで種をまいていました。3箇所に分けた苗箱をみんなで囲んで仲良く種をまきました。初めて参加した子供も居ましたが回数を重ねるごとに上達し手際よく作業をしていました。他の子よりも多く種をまきたい子も居て何回も楽しそうにまいていました。

最後に、種をまいた苗箱に覆土をしました。子供たち一人一人が土を持って、種が隠れるように土をかけていきます。全体が隠れたら、平らな板を使って土の表面を整え作業終了です。

この日作った苗箱は、田んぼの学校を支援しているの方々により、温度管理と水管理をして大切に育てられ、5月の田植えに再び登場します。

田んぼの学校を通してこれから一年間様々な行事が催されます。種まきに始まり、田植え、草取り、生き物調査、収穫など農作業の大変さや楽しさを肌で体験して、子供達はもちろん参加者全員が農業や食育というものに対する関心や意識が高まってくれるものと思います。

水土里ネット那須野ヶ原は、このような活動を支援し、共に成長していく団体です。

今後とも皆様のご支援とご協力をお願いいたします。



お母さんと一緒に水かけ！



兄弟仲良く種まき！